



# 熊谷市立籠原小学校 グランドデザイン 2022

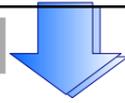


## ■学校教育目標およびその具現化に向けた取組

学校教育目標

確かな学力と豊かな心を持ち、たくましく生きる児童の育成

新熊谷プロジェクト



目指す児童像

知

徳

体

○よく考える子(正しく)  
《 確かな学力 》 ( 知 育 )

- ・意欲的、創造的な態度で学習する子
- ・考える力を伸ばす子

○思いやりのある子(明るく)  
《 豊かな人間性 》 ( 徳 育 )

- ・仲よく協力しあう子
- ・よいことを進んで行う子

○たくましい子(たくましく)  
《 健康と体力 》 ( 体 育 )

- ・進んで体を鍛える子
- ・最後までやり通す子

重点目標と具体的な取組



◎は児童との共通目標「籠小プロジェクトX」

### 1 基礎的・基本的な内容の定着と確かな学力の育成

- ・学習内容を明確にした授業の工夫
- ・考える活動と時間を取り入れた授業展開
- ・英語「ラウンドシステム」の考え方による学習の展開

### 2 主体的に学習に取り組む態度の育成

- ・学習規律の徹底(三尻中学校区で連携して)
- ・家庭での学習習慣の確立「学力アップカード」
- ・「くまなびスクール」の推進

### 3 生きる力の育成

- ・体験的な学習、課題解決的な学習の展開

具体的な数値目標

- 1人1研究・公開授業
- 全国、埼玉県、熊谷市学力・学習状況調査市平均以上
- ◎図書利用カード40冊
- ◎自主学習4冊
- ◎良文・古典の暗唱1人10こ(+10)

### 1 思いやりの心の育成

- ・いじめ解消率100%
- ・インクルーシブ教育の推進
- 2 基本的な生活習慣の確立
  - ・学校運営協議会と目標・ビジョンの共有
- 3 心のふれあいを重視した指導
  - ・地域の人との交流活動と、縦割り活動の実施
  - ・道徳の「見える化」(道徳授業の充実)
- 4 環境の整備と充実
  - ・働く喜びが体感できる活動(無言清掃・愛校活動)
  - ・きれいな教室・廊下と芝生、緑のカーテンの管理

具体的な数値目標

- 話し合い活動の実践(年10回以上)
- 年3回の環境美化と緑のカーテンコンクール入賞
- ◎登校時のあいさつハイタッチ100%
- ◎出席率99.0%
- ◎「4つの実践」「3減運動」95%以上

### 1 基礎体力の向上

- ・体育授業の充実(新体力テスト・サーキットコース・体幹の強化)
- ・「プレイタイム(業前運動)」の活用
- 2 健康な生活を営める自己管理能力の育成
  - ・う歯予防の推進と治療の推進
- 3 食育指導の充実
  - ・食事と健康についての指導

具体的な数値目標

- 新体力テスト県平均以上の種目80%
- ◎短なわとび学年目標達成90%
- ◎校庭200周
- ◎朝食摂取率100%
- ◎永久歯むし歯治療率95%
- 給食後の歯磨き100%

目指す学校像

「ありがとう」でいっぱい籠原小学校

学校研究 できる・伸びる・分かる楽しさを味わわせる学習指導の創造  
課題 ~国語科・算数科における確かな学力の育成を通して~

生徒指導の指針

◎是々非々で「すずめの学校」と「めだかの学校」とのバランスを大切にする。

- 1 誰にもわかる授業をし、確かな学力をつけます。「わかった」「できた」「ほめられた」の体験
- 2 徹底してかまっていけません。(児童全員が「自分は先生にわがわがられている」と思えるように)
- 3 いざという時、全員で動きます。
- 4 一秒でも早くプロの手へ渡します。(関係機関と連携する)

家庭・地域との連携

◎子供たち、保護者、地域との信頼関係を基盤にした教育活動を展開する。

- 1 家庭と連携した体力向上の取組
- 2 熊谷市の子どもたちは、これができる！  
「4つの実践」と「3減運動」の更なる推進
- 3 家庭と連携した健康教育の推進「いのちの授業」実践



よく考える子



思いやりのある子



たくましい子

### スマホ使い方宣言

【前文】

スマートフォン・携帯電話等はインターネットにつながることで大きな便利を享受できる。しかし、一歩使い方を間違えると、自分や周りの人を傷つけます。私たちは、スマートフォン・携帯電話等の使い方やルールを家族と約束し、誰も傷つけないことを、賢く上手に使うことを誓います。

自分や周りの人の情報を守ります。インターネット上に情報を公開することは、全世界に情報を配信していることと同じです。自分や周りの人を守るためにも、名前や写真・動画、住所など、個人を特定できる情報をインターネット上に公開することはありません。

他人を傷つけないようにします。画面の向こうには相手がいる。「バカ」「うざい」「ムカつく」「死ぬ」等、相手を傷つけるような言葉、自分が書き込まれて嫌なことや嘘を絶対に書き込みません。拡散もしません。

様々な角度から情報を入手し、正確な判断をします。インターネット上の情報は全てが正しいわけではありません。中には大げさな表現や嘘も混じっています。一つの情報だけを見て判断するのではなく様々な角度から情報を入手し、正確な判断をします。

インターネットにつながる機器にはフィルタリングを設定してもらいます。悪質なコンテンツによる被害(出会い系や暴力描写等の有害なサイト)や、ウイルスによる情報流出等を防止するため、保護者にフィルタリングを設定してもらいます。

熊谷市立籠原小学校児童会  
(令和元年10月31日作成)